



和装製品製造業者のこれからを考えるトークセッション 京都和装三産地の生産者が目指す経営

和装製品の製造現場を取り巻く現状の再認識と課題解決をテーマに、京都府内和装三産地において生産から販売までの取組みを進める事業者によるトークイベントを開催します。丹後織物産地事業者の方々が今後の経営のあり方について考える機会としてご参加をお待ちしております。

3月13日(木) 13:30-15:30

丹後・知恵のものづくりパーク B棟2階 大研修室 (京丹後市荒山 225)

主催 京都産業21 共催 京都府織物・機械金属振興センター 後援 丹後織物工業組合

●コーディネーター

松井敦史 氏 (株) 信用交換所京都本社 情報部 記者

- プロフィール: 京都の和装産業をはじめ和装産業全般を幅広く取材し、業界紙「信用情報」「キョウウエーブ」で記事を発信。きものサミット、きものサローネ、全国つくりべの会、きもの安全安心推進会議等のパネルディスカッションでコーディネーターを務める。

舞鶴政之 氏 (株) 西陣まいづる 代表取締役

- 少子高齢化に伴う市場縮小、生活様式の変化、DXによる購入選択肢のオムニチャンネル化。業界を取り巻く環境、企業の在り方、時代ごと求められるニーズは移り変わりますが、作り手に求められる本質として変わらない部分は美しいかどうか。西陣まいづるは織物を通じて美、喜び、心の豊かさを創出します。

野中順子 氏 (株) 秦流舎 代表取締役

- 長くお手元で愛でられるものをつくりたい。この時代の地球に優しい、エコロジーを考えたものづくりをしています。オリジナルの織柄、意匠、スタイルで展開した、すべてに置いて、どこをとっても「弓月らしく」「私らしい」そんなお品を取り揃えています。(秦流舎アンテナショップ「弓月」ウェブサイト)

岡山摩紀 氏 岡山工芸株式会社 代表取締役社長

- プロフィール: ソフトウェア会社勤務後、家業である岡山工芸へ。京友禅では女性初の伝統工芸士である母・岡山武子より伝統の技法を学ぶ。代表就任後は若手職人の育成や異業種との交流を図る。

渡邊正輝 氏 (株) ワタマサ 代表取締役

- ワタマサ独自の技術 大正7年創業の旗本が培ったノウハウを一反の織物に表現します。「織り」だけでなく「撚糸(ねんし)」や「整経(せいけい)」などの準備工程も自社で行うことで幅の広いモノづくりを実現します。また、論理的ではなく「感覚や感性で作る」ことを大事にしています。経験とノウハウを持つワタマサ独自のモノづくりを追求します。

柴田祐史 氏 柴田織物 代表

- 現在、柴田織物は新たな挑戦に取り組み、伝統と現代の融合で着物にとどまらず、デザイナーの生地やテレCM、映画の衣装などにも可能性を広げています。お客様のイメージやアイデアから始まり、熟練の職人やデザイナーが共にスケッチを描き、織物データに変換し、絹糸の色を合わせて織り上げます。柴田は品質にこだわり抜き、一点一点にお客様の情熱を込めています。

●問合せ: 京都産業21 北部支援センター TEL 0772-69-3675

●申込み: 3月12日までに ①裏面の申込書でFAX送信 FAX 0772-69-3880

又は ②専用フォームから入力 <https://www.ki21.jp/entries/view/index.php?id=457062>

●定員: 30名



和装製品製造業者のこれからを考えるトークセッション

3月13日（木）13：30－15：30

丹後・知恵のものづくりパーク B棟研修室

●申込み：3月12日までに下記の申込書でFAX送信をお願いします

FAX 0772-69-3880

氏 名 _____

事業所名 _____

業 種 _____

住 所 _____

連絡先（TEL） _____

専用フォームからの申込みはこちらから

<https://www.ki21.jp/entries/view/index.php?id=45706>

